



## 安藤 春一 議員

# Q. 防犯カメラの設置を A. 町有施設内に設置する



犯罪抑止につながる防犯カメラ

**Q** 西枇杷島署管内で空巣被害急増との新聞報道。

本町でも1月～3月で16件の発生。(前年5件)

現在、昼・夜間の防犯パトロールや防犯警戒ステッカーの配付等の対策を進めている。が、緊急事態に即応するには、防犯カメラの設置が急務。

この件は、「犯罪の抑止」か「プライバシーの保護」かが、問われる。

が、各々の地域や様々な分野で、その防止能力や威力が証明されている。

まずは町内の要所に設置する。その結果を検証し、町民個々に設置を奨励する施策に繋がれば、素晴らしいことと思つが、どうか。

**A** 町内では、今年に入ってから空き巣や車上狙いが多発している状況である。防犯協会と豊山自主パトロール

隊によるパトロールを強化しているほか、防犯ステッカーを作成し、防犯への啓発活動を実施している。

しかし、ますます凶悪化、多様化する犯罪を抑止するには、新たな取り組みとして防犯カメラの設置を検討すべきと考え

る。本町の行政面積と町民の生活範囲、犯罪の発生状況などから、最も効果

的な設置場所、方法を検討するとともに、主要幹線道路に面した町有施設内に設置し、施設外の幹線街路を記録する防犯カメラが最適と考える。

しかし、防犯カメラの設置及び運用には、個人情報保護に関する多くの課題がある。今後、設置に向けて早急に内部で課題を整理し、効果的な設置場所の選定や運用方法などを検討していく。